

マツゲン 敗者復活戦へ

1回戦 日本生命に4-5

都市対抗野球

近畿2次予選

7月14日に東京ドームで開幕する第94回都市対抗野球大会（日本



【マツゲン箕島―日本生命】6回を2失点と好投したマツゲン箕島の先発・森徳（大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで）

野球連盟、毎日新聞社主催）の近畿地区2次予選が22日、大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで開幕した。14チームが代表5枠を争う。

初日は1回戦3試合

があり、日本生命（大阪市）が5-4でマツゲン箕島（有田市）に逆転勝ちし、日本製鉄広畑（兵庫県姫路市）は7-1でカナフレックス（滋賀県東近江市）に快勝した。日本新薬（京都市）は3-0でアスミビルダーズ（神戸市）を降し、それぞれ

れ2回戦に進んだ。敗れた3チームは敗者復活戦に回った。

【中田博維、来住哲司】

▽1回戦

マツゲン箕島

000013000004

0100001003X5

日本生命

（マ）森徳、坂本、小谷、藤本（目）佐伯、山本、石伊、田口、二塁打 中山（マ）山田、皆川（目）

日本生命が終盤に集中打で逆転。2点を追う八回1死二、三塁から立松の右前適時打が敵失も誘って同点。続く代打・皆川の左翼線適時二塁打で勝ち越した。マツゲン箕島は五回に3安打などで3点を挙げたが、投手陣が踏ん張れなかった。

若いチーム堂々

○：八回に逆転を許して惜敗のマツゲン箕島の西川忠宏監督は「追加点を取れなかった」と七、八回の得点を逃したことを悔いた。チームは昨年から15人が抜けて13人が加わるなどメンバーが大きく入れ替わって若いチームとなったが、日本生命に堂々と渡り合

った。「あと少しという思いはあるが、相手は終盤に出てきたベテランが勝負強さを発揮した」とその差を実感した様子。2安打2打点と活躍した2年目の中山聡も七回の2死一、二塁では凡退し「チームに貢献できていない。もっと努力して企業チームに勝負できるようにしたい」と前を向いた。

効果のある
オリコミチラシの
お申込みは

和歌山毎日広告社

Tel.(073)423-9291

和歌山市八番丁9 パーク泉信ビル
www.w-mainichi-ad.com